

県立社会体育施設の最適な管理についての調査研究の経過報告について

1. 概 要

- ・ 県立社会体育施設(滋賀県立長浜ドームなど 11 施設 12 建物)について、施設の状況と平成 36 年の国体開催を見据えた各施設の最適な管理の調査研究を今年度実施中。
- ・ 平成 26 年 11 月定例会の当委員会で各施設の主な現状と国体で活用する場合の課題や留意点について経過報告済。
- ・ 今年度末の調査研究の結果を踏まえ、各施設の運営および維持管理の方針を来年度できるだけ早い段階で示す予定。

2. 各施設の調査にかかる経過報告

現時点での調査結果の見通しを整理した。 別表

各県立社会体育施設における最適な管理についての調査研究の経過報告(現時点における調査結果の見直し)

(平成26年11月議会報告内容)

施設名	設置年	経過年数	主な現状	国体で活用する場合の課題や留意点
長浜ドーム(長浜市)	平成4年3月	22年	・屋根の天窓のシーリング材に劣化が見られ、放置しておくとな物の構造体に影響が出る恐れがあり、早期の対応が必要。 ・電光掲示板は、設置後22年が経過し陳腐化しているため、更新が必要。 ・平成15年に張り替えた人工芝の摩耗が見られ、耐用年数が10～15年であることを考えると、数年以内に張り替えが必要。	
アイスアリーナ(大津市)	平成12年5月	14年	・観客席に吊り天井部分があり撤去が必要。 ・施設の内壁および外壁にひび割れや剥離等が見られ改修が必要。	アリーナとしての活用も可能
武道館(大津市)	平成5年3月	21年	・剣道場、柔道場に吊り天井があり、撤去が必要。 ・施設の一部に雨漏りがあり、放置しておくとな物の構造体に影響が出る恐れがあることから、対策が必要。	・施設規模が小さく、競技会場の開催基準に達しない。 ・観客席、役員席等の確保が困難 ・駐車場の確保が課題
野球場(彦根市)	(昭和14年設置) 平成4年9月改修	(74年) 改修後22年	・観客席の大屋根部分裏面の断熱材が老朽化し一部剥離落下していることから修繕が必要。 ・施設改修と同時に設置したスコアボードが陳腐化しており全体の更新が必要。	
柳が崎ヨットハーバー(大津市)	平成8年5月	18年	・施設内の壁に雨水による浸食がみられ、放置しておくとな物の構造体に影響が生じるため対策が必要。 ・敷地内には、現在使用できないボート会館や車庫等があり、放置しておくとな崩壊の恐れもあるため、撤去が必要。	・敷地内に老朽化した建築物が点在しており、撤去することで一定の面積確保が可能。 ・国体施設基準の艇置き面積7,000㎡に足りない面積は近隣の空き地等面積確保の方法について検討が必要。
栗東体育館(栗東市)	平成6年10月	20年	・施設の一部に雨漏りがみられ、放置しておくとな物の構造体に影響が出る恐れがあることから、対策が必要。	・競技に必要なスペースを確保すると観客席の確保が困難 ・新体換競技においてアリーナの天井高が競技会場の開催基準に達しない ・駐車場の確保が課題
伊吹運動場(米原市)	昭和54年4月 平成14年4月 観客席(兼管理棟)新築	35年 観客席12年	・管理棟外壁における防水塗膜の剥離等が進行しており壁内部に雨水が浸食してきているため、早期の対応が必要。 ・平成14年に張り替えたホッケー用人工芝の摩耗が見られ、耐用年数10年～15年を考えると数年以内に張り替えが必要。	
スポーツ会館(大津市)	昭和59年5月	30年	・屋根瓦を固定している木の腐食がみられ、全面的な改修が必要。 ・競技用測定機器類について老朽化・陳腐化が進んでおり、更新が必要。	(施設の特性上、元々国体会場に想定せず)
ライフル射撃場(大津市)	昭和55年5月	34年	・建物および屋外階段の鉄骨材に著しい腐食の進行がみられ、対策が必要。	駐車場の確保および交通アクセスが課題
琵琶湖漕艇場(大津市)	昭和46年4月	43年	・築43年が経過し、管理棟・設備等の老朽化が著しく、全面改修の検討が必要。	ボート、カヌーの競技会場とする場合には、現行の艇置きスペースが不足するため、コースの向き(ゴールスタート)を逆にしてスペース確保を図る等の対策が必要になる。
県立体育館(本館・別館)(大津市)	昭和45年10月(本館) 昭和54年5月(別館)	44年 35年	・本館は築44年が経過し、老朽化が著しい。また本館アリーナが吊り天井となっており撤去が必要。 ・本館アリーナの床については、研磨により管理ができる3回の研磨を既に実施済み。	駐車場の確保が課題
スイミングセンター(彦根市)(県立プール)	プールは公園(彦根彦根総合運動公園)敷地内での設置が困難であり、別場所での再整備を検討する。			

現時点における調査結果の見直し	現時点の見解
長期的に施設の維持管理を行うためには、以下の改修が必要。 ・早期の雨漏り箇所の調査および改修 ・電光掲示板の更新 ・数年以内の人工芝の張り替え	
長期的に施設の維持管理を行うためには、以下の改修が必要。 ・観客席吊り天井の撤去 ・内壁および外壁のひび割れや剥離等の改修	
長期的に施設の維持管理を行うためには、以下の対応が必要。 ・剣道場等の吊り天井の撤去 ・雨漏れの改修 ・施設規模が小さく、競技会場の開催基準に達しないため、国体の競技会場としての活用は極めて困難。	必要な改修を経て現状施設の維持が適当
長期的に施設の維持管理を行うためには、以下の改修が必要。 ・観客席の大屋根の改修 ・スコアボードの改修	
・施設内の壁に雨水による浸食があり、改修が必要。 ・敷地内にある現在使用できないボート会館等は撤去が必要 ・国体の競技会場とするには艇置き面積7000㎡に足りない面積は近隣の空き地等面積確保の方法について検討が必要。 ・現行施設は講堂(更衣室、シャワー室等)が十分ではなく対策が必要。	本調査の最終結果を踏まえ今後の方針を再検討する。
・長期的に施設の維持管理を行うためには、施設の一部に雨漏れがあり、改修が必要。 ・競技スペース・観客席・駐車場の不足することから、国体の競技会場としての活用は極めて困難。	建設から経過年数(20年)が比較的長く、国体の練習拠点としての役割を踏まえると、施設の必要性は高い。
・平成14年に張り替えたホッケー用人工芝の摩耗が見られ、耐用年数10年～15年を考えると数年以内に張り替えが必要。	国体のホッケー競技会場としての役割を踏まえると、施設の必要性は高い。
・施設の建物については屋根瓦を固定している木の腐食がみられ、全面的な改修が必要。 ・競技用測定機器類について老朽化・陳腐化が進んでおり、更新が必要。	競技力向上の拠点としての役割から必要性は今後益々高くなる。
・現在の建物や屋外階段に著しい腐食の進行が見られ、建て替えが必要。 ・施設の劣化と駐車場の確保の課題等から、国体の競技会場としての活用は極めて困難。	本調査の最終結果を踏まえ今後の方針を再検討する。
・築43年が経過し、管理棟・設備等の老朽化が著しく、全面的な改修が必要 ・国体の競技会場としての活用には艇置きスペースが不足するため、コースの向き(ゴールスタート)を逆にしてスペース確保などの対策が必要。	東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致や関西ワールドマスターズ開催を念頭に置くこと、国際標準等への適合が求められる。
・本館は築44年が経過し、老朽化が著しい。今後現在の施設を維持するには以下の大規模な改修が必要。 ・吊り天井撤去 ・床の張替 ・現在地では国体をはじめとする大規模な大会時やプロスポーツ等イベント時の駐車場確保が課題。	本調査の最終結果を踏まえ今後の方針を再検討する。
(国体主会場の整備に伴う現行施設の撤去)	国体競技基準を満たすプールの確保が喫緊の課題であり、設置場所や施設規模等を含む県としての整備方針を検討する。